

考古学総合実習

選択 2単位

阿部 朝衛・畑 大介・榎原 功一・
高木 暢亮

1. 授業の概要(ねらい)

考古学においては、研究目的の設定後、遺跡の発掘調査および成果の公開・活用を適切に行わなければならない。具体的には、遺跡探索・踏査、地形観察・測量、発掘調査、次いで調査資料の整理・分析、検討結果の公表という過程が含まれ、これらの過程では様々な実践的知識と技術が必要となる。今年度は伊豆半島の石器材料調査と石材資源環境調査を通して、それらの調査にかかわる知識・技術を学ぶことを目標とする。

2. 授業の到達目標

1. 遺跡踏査の準備、開始から終了までの手順、法的手続きを理解し、マネージメント能力を養う。
2. 実習を通して遺物や調査地点の記録、測量器具操作方法、写真撮影方法の基礎的技術を修得する。
3. 採集した遺物・石器材料の洗浄、注記、接合、図化作業を行う。

3. 成績評価の方法および基準

夏期の石器材料調査に参加し、調査結果をまとめたレポートによって評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

文化庁文化財部記念物課監修 『発掘調査のてびき』 同成社
『考古学調査・研究ハンドブック』 1～3 雄山閣

5. 準備学修の内容

対象とする遺跡あるいは時代の研究概要を事前に把握し、調査後は結果に関する検討、整理作業を行なうほか、多様な器材の取り扱い、準備、片付け、および実習前後の研究会等に積極的に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

実習前の説明会・準備会、および調査後の資料整理・研究会等に積極的に参加することを望む。それによって、発掘にかかわる技術だけではなく、考古学における研究・調査方法の概要を知り、法的手続きを含めた文化財マネージメントに関する知識の重要性を理解してほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】
1. 遺跡周辺の踏査と石材資源環境調査
 2. 採集した遺物や石材資源の種類・採集地点・採集日時の記録
 3. 遺跡の範囲と石材資源分布の確認
 4. 測量器具の取り扱い
 5. 文化財保護法に関係する手続き

【第2回】

【第3回】

【第4回】

【第5回】

【第6回】

【第7回】

【第8回】

【第9回】

【第10回】

【第11回】

【第12回】

【第13回】

【第14回】

【第15回】